

事業所名

共生型放課後等デイサービス 海の風

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

28 日

法人（事業所）理念		◆『もったいない』を大事にする！◆ 障がいのある方、子供たちの中には、自分の役割（仕事）ややりがいのあることを出来ずに日々を過ごしておられる方が多いのではないかと感じております。本人が出来ることについて手を出していませんか？こんな『もったいない』ことはありません。出来ることはやってもらう。Respect（尊敬）を込めて、この『もったいない』を大事にしたいと考えております。						
支援方針		発達支援を必要とするお子さんがご家族とともに安心して豊かな地域生活を送れるように支援します						
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	*健康状態を把握します。 *基本的な生活スキルの獲得のために、自分で身支度や物の管理等ができるようにします。 *時間や空間がお子さんにわかりやすいように構造化等により生活環境を整えます。 健康チェック、目隠しや活動場所の仕切りなど環境の調整、視覚支援（スケジュールや手順の掲示）、入退室時の持ち物の片づけや準備・忘れ物確認、排泄、更衣（服をたたむ）、身だしなみや清潔の確認など						
	運動・感覚	*さまざまな遊びや課題を通して、身体や手先の使い方のコツを伝えます。 *お子さんの運動機能や感覚の感じ方（敏感・鈍感）に合わせて、課題を設定します。 *力や疲れなどの調整を促します。 さまざまな感覚（視覚、聴覚、触覚、固有覚、前庭覚など）を取り入れた遊び、感覚の感じ方（敏感・鈍感）への配慮、好ましい姿勢や道具の扱い方等の絵カードや具体的な声かけ、力や疲れの視覚化など						
	認知・行動	*空間や時間等の概念の形成を図ったり、視覚支援を活用したりすることで、見通しを持った自主的な行動につなげます。 *自分の得意なことや苦手なことなどを知り、自己理解をしていくことを促します。 *自分の気持ちや行動に気づいて調整しようとするなど適切な行動への対応の支援を行います。 小集団遊びにおける認知の偏りへの配慮、視覚支援（スケジュールや手順の掲示及び自分で見て確認・行動することを促す）、概念形成や学習を促す教材、おしまいや好ましい行動などの事前予告						
	言語 コミュニケーション	*自分の思いや要求の相手への伝え方など場面や相手の状況に応じた適切なやりとりを促します。 *机上課題などを取り入れ、理解や特性に合わせた読み書き向上のための支援を行います。 プリントなどの課題、自己紹介や振り返りでの人前での発表、小集団遊びにおける場面設定						
	人間関係 社会性	*活動の目標を理解し、役割やルールなどに応じて友達との協同・集団遊びへの取り組みややりとりを通して、適切な人間関係の形成を促します。 *他者の気持ちや意図を理解したり、適切な行動をしたりするなど、社会に適応するために必要なソーシャルスキルの獲得を支援します。 *自分の感情や気持ちなどに関心を持ち、情緒の安定を図ります。 勝敗などのある課題設定、ソーシャルスキルトレーニング、友達とのやりとりや交渉、好ましい行動などの事前予告、気持ちのコントロール、行動を認めて自尊心を高めるなど						
家族支援		*親子通所での支援場面の観察などを通じて、お子さんの特性を踏まえた関わり方などについて相談援助を行います。 *ご家族からお子さんのご家庭での様子や心配などについてお話を伺い、ご家庭でも実践できるような環境づくりや関わり方の工夫を一緒に考えます。 *お子さんの発達や特性、関わり方のコツに関する学習会や保護者同士の交流の機会を提供します。 *家族（きょうだいを含む）で参加できる行事を実施します。			移行支援		*切れ目のない支援を継続できるよう移行先にお子さんの発達やこれまでの支援経過、支援方法等に関する情報共有し、地域の教育の後方支援を行います。	
地域支援・地域連携		*地域の障害児通所支援事業所向けの研修を実施するなど、地域の事業所への支援を行います。 *保育、教育、福祉、医療等の関係機関と連携し、地域の発達支援体制の充実や地域の発達支援に関する課題の改善・解決に努めます。 *発達に支援が必要なお子さんに関する知識について普及啓発します。			職員の質の向上		*外部研修の受講や事業所内研修を実施し、職員の専門的な知識やスキル、支援の質の向上を図ります。	
主な行事等		・長期休暇には買い物体験、外出体験等を実施 ・年に数回、地元バンド等を招いて地域住民との交流会（ゲームやわた菓子・ポップコーン作り体験）を実施。						